

## ユニット受講マニュアル【学生用】

\* 講義については、必ず各自のパソコンを、**LANケーブルを使用して**eYUMEにアクセスした上で受講してください(無線LAN, wifiは使用しないで下さい)

\* 実習, 演習, テュートリアルについては、各ユニット長, 担当教員の指示に従ってください

\* eYUMEは、学生の皆さんの効率のよい学修(予習, 復習)を助けるツールです

The screenshot shows the homepage of the Faculty of Medicine at Yamaguchi University. The page includes navigation menus for various departments and a central content area with news and recruitment information. In the bottom right corner, there is a section for 'eYUME' (Yamaguchi University Medical Education Electronic System) which is highlighted with a red box. A red arrow points from this box to the instruction below.

1. 医学部のトップページから、"eYUME"をクリックして下さい。

【事前準備】



2. 山口大学に登録しているID, パスワードを入力し, ログインして下さい。

3. ユニットを受講する前に, ユニットの情報を確認して下さい。

### カリキュラム Curriculum

#### 基礎医学系科目

コース名	コース 責任者	ユニット名(ユニットID)	コマ 数	学 年	ユニット 責任者	シラバス 責任者	講座名	旧講座名
プロフェッショナル シヨナリズム	藤宮龍也	医学入門1 (040001)	19	1	白澤文吾	西本新	医学教育センター	
		医学入門2 (040002)	19	1	白澤文吾	西本新	医学教育センター	
		生命倫理学	1		白澤文吾	西本新	医学教育センター	
		医療人類学	1		星野晋	星野晋		
		行動科学	1		崎本裕也	崎本裕也	神経生理学	2生理
		医学史1	1		藤宮龍也	藤宮龍也	法医学	法医
		医学史2	1		藤宮龍也	藤宮龍也	法医学	法医
		医療概論・倫理序説 (040032)	17	2	白澤文吾	西本新	医学教育学	医療環境
		医療安全学 (040033)	9	4	藤宮龍也	姫宮彩子	法医学	法医
		医療安全学テュートリアル (040034)	16	4	藤宮龍也	姫宮彩子	法医学	法医
臨床倫理学 (040035)	12	4	白澤文吾	西本新	医学教育学	医療環境		
基礎生化学序説 (040144)	7	2	中井彰		医化学	生理1 生化2		
基礎生命実験医学 (040104)	16	2	中村教泰	中村純奈	器官解剖学	解剖1		
発生学 (040105)	9	2	中村教泰	中村純奈	器官解剖学	解剖1		
医用統計学・医用AI学 (040106)	15	2	浅井義之	早野崇英	システムバイオインフォマティクス	衛生		
システムバイオインフォマティクス (040108)	8	3	浅井義之	早野崇英	システムバイオインフォマティクス	衛生		

(例) “医療概論・倫理序説”について説明します。

## ユニット概要

Unit

コース プロフェッショナリズム

ユニット 医療概論・倫理序説

### 目標

#### 1. 主題

1. 医学・医療の倫理問題全般を理解する。
2. 医学・医療の各領域の倫理問題に対する現在の考え方や解決のあり方について理解する。
3. 医療概論全般について理解する。

#### 2. 到達目標

1. 医療倫理の歴史的な流れを概説できる。
2. 臨床倫理の歴史的な流れを概説できる。
3. 患者の基本的権利を概説できる。
4. 患者の自己決定権を概説できる。
5. 臨床諸領域における代表的な倫理問題を概説できる。
6. 倫理問題に対する解決法を4分割表を用いて概説できる。
7. キャリア形成のあり方について概説できる。

#### 2. テキスト

必要度	書名	著者・監修者・訳者	出版社	出版年	本体価格
2	マンガで学ぶ生命倫理	児玉聡	化学同人	2013	1000
2	臨床倫理入門	日本臨床倫理学会	へるす出版	2017	3000
3	医学生のための生命倫理	盛永審一郎	丸善出版	2012	2800

- 1 必携（授業に必ず持参するもの）
- 2 推奨（学習する際に読むことを強く勧めるもの）
- 3 参考（参考書として適切なもの）

#### 3. 教育方法等の特記事項

授業時の最後の10分間程度を使い、学んだことあるいは担当者の提出する課題について的小レポート提出を求めることがある。また、医療倫理事例検討では、その事例に関して課題探究・解決学修を行い、レポートを提出する。

#### 評価方法

ユニット最終日に、ユニット全内容についての筆記試験を行う。ユニット進行中にも適宜小テストやレポートが課されることがある。成績評価は、これらの試験やレポート、授業への出席状況や参加態度を総合的に判断する。

#### 注意点（再試等）

1回のみ行う。

4. 事前に、“主題”，“到達目標”で、当ユニットで何を身に付けるのかを確認し，“テキスト”，“教育方法”，“評価方法”等を把握した上で効率よく学修を進めて下さい。“到達目標”については、ユニット終了毎に自己評価を行います。

【授業当日】

Home > カリキュラム：時間割

**時間割**  
timetable

2年生 2020年 01月 検索

◀ 前の月へ [2年生] 2020年 1月 次の月へ ▶

日	曜	1・2時限 8:40~10:15	3・4時限 10:25~12:00	5・6時限 13:00~14:35	7・8時限 14:45~16:20	9・10時限 16:30~18:05
1	水	元日				
4	土					
5	日					
6	月	冬季休業				
7	火	冬季休業				
8	水	環境・予防医学(1)	医療概論・倫理序説(1)	病理組織実習1(1,2)	(選択)open science club 1	(選択)open science club 1
9	木	環境・予防医学(2)	環境・予防医学(3)	病理組織実習1(3,4)	(選択)open science club 1	(選択)open science club 1
10	金	環境・予防医学(4)	医療概論・倫理序説(2)	病理組織実習1(5,6)	(選択)open science club 1	(選択)open science club 1
11	土					
12	日					
13	月	成人の日				
14	火	環境・予防医学(5)	医療概論・倫理序説(3)	環境・予防医学(6)	(選択)open science club 1	(選択)open science club 1
15	水	環境・予防医学(7)	環境・予防医学(8)	医療概論・倫理序説(4)	病理組織実習1(7,8)	
16	木	環境・予防医学(9)	環境・予防医学(10)	医療概論・倫理序説(5)	病理組織実習1(9,10)	
17	金	医療概論・倫理序説(6)	医療概論・倫理序説(7)	環境・予防医学(11)	環境・予防医学(12)	(選択)open science club 1

5. “時間割”をクリックして、受講する授業を選択して下さい。

(例) 2年生の“医療概論・倫理序説(7)”について説明します。

# 授業インデックス Teaching Index

コース プロフェッショナリズム

ユニット 医療概論・倫理序説

授業内容 感染症と倫理(7)

授業ID k0400321600

8. “授業内容詳細”に、授業で使用する資料を掲載しているものもあります。

ユニット概要

前回の授業

次回の授業

授業内容詳細

担当者	久永拓郎										
授業日時	2020年1月17日(金) 3・4時限 第1講義室										
授業のねらい	1. 感染症医療における倫理問題を挙げることができる。 2. 主な病原体と疾患、感染経路について説明できる。 3. 感染症法に基づく分類と届出、患者隔離・制限等について説明できる。 4. 感染症に対する行政政策について説明できる。 5. 標準予防策と隔離予防策について説明できる。 6. 代表的な感染症への対策について説明できる。 7. 感染症患者のプライバシーに配慮ができる。 8. 感染症患者の診療における倫理的配慮ができる。										
キーワード	<table border="1"><thead><tr><th>日本語</th><th>英語</th></tr></thead><tbody><tr><td>感染症</td><td>Infectious disease</td></tr><tr><td>感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)</td><td>Act on the Prevention of Infectious Diseases and Medical Care for Patients with Infectious Diseases</td></tr><tr><td>標準予防策</td><td>standard precautions</td></tr><tr><td>スティグマ</td><td>stigma</td></tr></tbody></table>	日本語	英語	感染症	Infectious disease	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)	Act on the Prevention of Infectious Diseases and Medical Care for Patients with Infectious Diseases	標準予防策	standard precautions	スティグマ	stigma
日本語	英語										
感染症	Infectious disease										
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)	Act on the Prevention of Infectious Diseases and Medical Care for Patients with Infectious Diseases										
標準予防策	standard precautions										
スティグマ	stigma										

## 学修目標 (H28コアカリ等対応)

### ▲コアカリ番号を照らす

- A-1-1-1-1 ①医学・医療の歴史的な変遷とその意味を概説できる。
- A-1-1-1-2 ②臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。
- A-1-1-1-3 ③ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師倫理規範の意義を説明できる。
- A-3-1-1-8 ⑧患者の苦痛や不安感に配慮しながら、就労・就学、育児・介護等との両立支援を含め患者と家族に対して臨床で適切な支援を行える。
- A-4-2-1-6 ⑥患者のプライバシーに配慮できる。
- A-4-2-1-7 ⑦患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。
- A-6-3-1-2 ②標準予防策(standard precautions)の必要性を説明し、実行できる。
- A-6-3-1-3 ③患者隔離の必要な場合を説明できる。
- B-4-1-1-2 ②病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。
- B-4-1-1-4 ④人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。
- B-4-1-1-14 ⑭具体的な臨床事例に文化・社会的課題を見いだすことができる。
- E-2-4-5-1 ①標準予防策(standard precautions)、感染経路別予防策(飛沫感染予防策、接触感染予防策や空気感染予防策等)が必要となる病原体を説明できる。
- E-2-4-5-2 ②患者から医療従事者への病原体微生物曝露を防ぐための個人防護具、予防接種等を概説できる。

7. “授業のねらい”, “キーワード”を確認し、効率よく学修を進めて下さい。

## 関連授業

現在登録がありません。

6. 授業開始前に“学修目標”を開き、当授業で身に付けるべき能力を確認しておいて下さい。  
“学修目標”については、講義終了毎に自己評価を行います。

## 授業内容の詳細

コース プロフェッショナリズム

ユニット 医療概論・倫理序説

授業内容 感染症と倫理(7)

授業ID K0400321600

担当者	久永拓郎
授業日時	2020年1月17日(金) 3・4時限 第1講義室
授業概要	

### 添付ファイル

#### ドキュメント

アイコン	ファイル
	医療概論・倫理2018年度スライド(機転用).pdf (439.42KB)

9. ファイルをクリックし、学修に役立てて下さい。

閉じる